Ⅰ．新型コロナウイルス感染症に対する武蔵野市の対応

令和３年版より、令和２年度以降に実施した新型コロナウイルス感染症に対する武蔵野市の対応について、Ⅱ.福祉総合からⅩ.国民健康保険までに記載の事業から抽出し、新たに章立てをした上でまとめています。

・新型コロナウイルス感染症対策に関する令和４年度新規事業は、コロナ新規と表示しています。
・新型コロナウイルス感染症対策に関する令和２年度以降の新規事業のうち、令和４年度まで継続して実施したものは、コロナ継続と表示しています。
・新型コロナウイルス感染症への対応のため、令和４年度に既存事業（既掲載事業）を変更（拡充・縮小・中止等）した場合は、コロナ変更と表示しています。
※新型コロナウイルス感染症対策に関する新規事業のうち、令和３年度までに事業終了したものについてはコロナ○○の記載はしておりません。

新型コロナウイルス感染症に対する武蔵野市の対応

１．福祉総合

(1)住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金　コロナ継続

「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」（令和３年 11 月 19 日閣議決定）の趣旨を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々が、速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう、住民税非課税世帯等に対して、給付金支給事業を実施した。

また、「コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」」（令和４年４月 26 日原油価格・物価高騰等に関する関係閣僚会議）において、真に生活に困っている方々への支援措置の強化として、住民税非課税世帯等(家計急変により受給資格があるにもかかわらず、申請がないことにより受給できていない世帯含む)に対する臨時特別給付金について、原則として令和４年度課税情報を活用したプッシュ型給付を行うこととした。

①支給対象

ア　基準日（令和３年 12 月 10 日）において世帯全員の令和３年度又は令和４年度分の住民税均等割が非課税である世帯　※住民税が課税されている者の扶養親族等のみからなる世帯を除く。

イ　アのほか、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、①の世帯と同様の事情にあると認められる世帯（家計急変世帯）

②支給額

１世帯につき 100,000 円。

年度	支給決定件数		
	①住民税非課税世帯(件)	②家計急変世帯(件)	支給金額(円)
3	11,970	73	1,204,300,000
4	2,895	76	297,100,000
合計	14,865	149	1,501,400,000

※令和４年度実績は令和４年度課税情報を活用したプッシュ型給付を含む。

（地域支援課）

(2)電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金　コロナ新規

「物価・賃金・生活総合対策本部（第４回）」（令和４年９月９日開催）において、電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯（住民税非課税世帯等）に対し、給付金支給事業を実施することとした。

①支給対象

ア　基準日（令和４年９月 30 日）に世帯全員の令和４年度分の住民税均等割が非課税である世帯
※住民税が課税されている者の扶養親族等のみからなる世帯を除く

イ　アの世帯と同様の事情にあると認められる世帯（家計急変世帯）

②支給額

１世帯につき 50,000 円。

年度	支給決定件数		
	①住民税非課税世帯(件)	②家計急変世帯(件)	支給金額(円)
4	12,754	74	641,400,000
合計	12,754	74	641,400,000

（地域支援課）

(3)新型コロナウイルス感染症拡大により影響のあった事業（地域支援課）コロナ変更

事業名	対応の内容
地域包括ケア人材育成センター事業	・認定ヘルパー養成研修は第１期、第２期のいずれも感染症対策を行ったうえで実施。 ・技術研修、認知症支援研修、管理者研修はオンラインを活用し実施。 ・プロジェクト「若ば」はオンラインで７回実施。 ・喀痰吸引等研修フォローアップミーティング、お仕事フェアを中止。
成年後見制度利用促進に関する事業	・武蔵野市地域連携ネットワーク協議会会議をオンライン・対面併用で実施。 ・成年後見制度市民講演会を、感染症対策を行ったうえで、武蔵野スイングレインボーサロンにて定員 40 名で実施。 ・成年後見制度学習会・相談会を、感染症対策を行ったうえで、商工会館市民会議室にて定員 40 名で実施。

２．地域福祉

(1)武蔵野市赤十字奉仕団

①事務職用マスクと医療現場用ビニールエプロンの製作

令和２年度に、日本赤十字社東京都支部からの依頼により、武蔵野赤十字病院へ事務職用マスク、大森赤十字病院へ医療現場用ビニールエプロンの製作を行った。（資材の提供、製作物の回収等は東京都支部が実施）

（地域支援課）

(2)社会福祉法人　武蔵野市民社会福祉協議会（略称：市民社協）

①地域福祉活動推進協議会（地域社協）運営委員研修

令和２年度に、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域社協運営委員研修で Zoom 体験研修を実施した。

開催日時等	事業内容・活動内容等
令和２年 ８月20日（木） ８月24日（月） 市民社協会議室	＜ミニ研修 Zoom体験会＞ コロナ禍において、地域社協の会議や打合せをオンラインで行うことを選択肢の１つとして考えられるようにするため、初心者向けの講座を実施した。 参加者：合計 19 名（全３回）

新型コロナウイルス感染症に対する武蔵野市の対応

②新型コロナウイルス感染症に伴い実施した事業

ア　地域団体による市民社協 Facebook でのメッセージリレーの実施

外出自粛等が続き従来の地域活動に取り組むことが難しい状況下において、地域住民に向けてのつながり続けるためのメッセージを各団体によるリレー方式で発信した。

・実施団体：地域社協（13団体）、身近な地域の居場所づくり助成金交付団体（９団体）

・実施期間：令和２年５月 13 日～６月 18 日

イ　コロナ禍の地域活動の事例を紹介した動画等の作成　コロナ継続

コロナ禍における地域活動を工夫して行っている16の事例を動画で紹介し、公開した。

・動画「コロナ禍の地域活動ってどうしてる？～ヒントとなる16の事例紹介～」

・再生回数：三密対策編 425 回、今しかできないこと編 250 回、新しいことにチャレンジ編 259 回（令和５年３月 31 日時点）

・公開日：令和３年８月 16 日

③ボランティアセンター武蔵野（略称：ＶＣＭ）における新型コロナウイルス感染症への対応のため実施した事業

ア　Zoom ボランティアが教える Zoom 講座

新型コロナウイルス感染症で地域活動やボランティア活動や衰退しないようオンラインで会話できる Zoom の使い方について説明する講座を実施。令和３年４月～令和４年３月まで 17 回実施。参加者 50 人。

イ　手づくりマスク等の募集及び寄贈

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、不足していたマスクを市内福祉施設等に寄贈することや、自粛期間中でもできるボランティア活動として、手づくりマスクを募集した。令和２年４月～６月まで募集し手作りマスク 1,378 枚、サージカルマスク 6,041 枚、ガーゼマスク 1,290 枚、その他材料（ゴムひも等）が集まり、市内福祉施設（12 か所）へ寄贈した。

ウ　ひとりじゃないプロジェクトの試行実施

新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛のなか、会話ができないモヤモヤを抱える人向けに、市内で５名のカウンセラーによる団体「庵」と協働で、電話で傾聴を行うボランティアプロジェクトを令和２年５月～８月まで実施し、延17人が利用した。

（武蔵野市民社会福祉協議会）

(3)新型コロナウイルス感染症拡大により影響のあった事業（地域支援課・市民社協）コロナ変更

事業名	対応の内容
民生委員・児童委員	・例年春と秋に実施している管外視察研修は中止となった。 ・関係機関との地区連絡協議会（四者協）は３会場での分散会形式にて実施。 ・毎月の合同協議会について、７月は単位民児協ごとに時間差で資料交付する形式をとった。
社会を明るくする運動	・駅頭ＰＲ活動(７月)を中止。 ・市内夏祭り等では、感染症対策に留意し必要最低限の人数で広報活動を実施。(西部コミセン祭り、本宿盆踊り)
保護司会	・武蔵野桜まつりはＷＥＢ開催のため、啓発活動は中止となった。 ・例年６月ごろに実施している管外視察研修は中止となった。
シニア支え合いポイント制度	・ポイントの交換期限を令和４年３月 31 日から令和４年５月 31 日へ延長
赤十字奉仕団	・必要最小限の会議開催に留めた。 ・世界赤十字デー記念街頭キャンペーン、研修等は中止、会員増強運動を５月から 10 月～11 月に延期した。 ・主な活動であるボランティア活動について、受け入れ先との協議により一部中止。
児童福祉事業（市民社協）	・被保護世帯及び低所得世帯の児童で「むさしのジャンボリー再開準備事業」に参加する小学生に上限 2,500 円を支給。 ・児童養護施設との交流を中止。
障害者福祉事業（市民社協）	・オンラインにて東京都個人タクシー協同組合武三支部と参加者（NPO 法人 MEW 利用者）との交流会を実施（令和３年度）。
貸付事業（市民社協）	・新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業により、一時的または継続的に減収した世帯を対象として生活費の貸付を行う。令和４年９月末に申請受付終了。貸付件数 143 件。
普及啓発事業（市民社協）	・広報委員会は７月まで書面開催、10 月からはオンラインにより開催。 ・令和４年７月３日の七夕のつどいを開催。社協会員の住所別による分散来場(午前・午後)の呼びかけ、座席間隔の確保、体温自動測定等、新型コロナウイルス感染症対策を実施。
調査・研究事業（市民社協）	・高齢者理解を深めるための講座を動画や Zoom 等オンラインで開催（認知症サポーター養成講座の提供）。
その他の法人運営事業（市民社協）	・第 27 回チャリティゴルフ大会を開催（表彰式及び懇親会を中止し、規模を縮小）
ボランティアセンター武蔵野（略称：ＶＣＭ）	・講座等に関しては、ハイブリッドや対面での実施に移行した。 ・運営委員会等はハイブリッドにて実施、運営委員会研修は中止。

３．生活福祉

(1)新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金　コロナ継続

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、既に総合支援資金の再貸付が終了するなどにより、特例貸付を利用できない世帯が存在する。こうした世帯に対して、就労による自立を図るため、また、それが困難な場合には円滑に生活保護の受給へつなげるために支給。令和３年７月に開始した。支給月額は世帯人数により60,000円から100,000円。支給期間は３ヶ月間。一度に限り、初回と同内容の再支給が可能。令和４年12月31日に申請期間終了。

年度	3	4
支給決定件数（うち再支給）（件）	249(78)	219(114)
延べ支給件数（うち再支給）（件）	648(194)	746(378)
支給金額（円）	46,860,000	51,320,000

（生活福祉課）

(2)生活困窮者特別就職支援金　コロナ継続

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で生活に困窮する世帯について、当該世帯の生計中心者が常用就職等をした際の初回給与入金までの生活安定及び就労の定着を目的に支給。住居確保給付金または新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金受給期間中に常用就職した際に50,000円、その後、６か月以上の就労継続した際に50,000円。令和３年10月１日以降の常用就職が対象。

年度	3	4
支給決定件数（件）	9	52
支給金額（円）	450,000	2,600,000

（生活福祉課）

(3)生活困窮者住居契約更新料給付金　コロナ継続

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で生活に困窮する世帯について、現在の住居を喪失することを防ぐために更新料の一部を支給。住居確保給付金受給中に住居の契約更新を迎えた際に、住居確保給付金支給月額または更新料のうち低い額。令和３年４月１日以降の住居確保給付金申請者が対象。

年度	3	4
支給決定件数（件）	26	10
支給金額（円）	1,321,600	498,400

（生活福祉課）

(4)新型コロナウイルス感染症拡大により影響のあった事業（生活福祉課）コロナ変更

事業名	対応の内容
住居確保給付金事業	・国の制度改正により、①支給対象要件等の緩和（令和２年４月１日～ほか）、②支給期間が最長９ヵ月から 12 ヵ月に拡大（令和３年１月１日～令和３年３月 31 日）、③再支給要件の緩和（令和３年２月１日～令和５年３月 31 日）。
学習支援事業	・令和２年６月 14 日まで中止（令和２年２月 29 日～）。サポート型については、電話等により自宅での学習を支援。 ・令和３年１月８日～令和４年６月 30 日まで、事業の終了を午後８時までに短縮。

４．児童福祉

(1)子育て世帯臨時特別給付金事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援するために、児童手当（本則給付）を受給する世帯に対し、対象児童一人あたり 10,000 円の子育て世帯臨時特別給付金を支給。

年度	対象世帯数（世帯）	対象児童数（人）	支給金額（円）
2	7,458	11,295	112,950,000

――令和２年度武蔵野市子育て世帯への臨時特別給付金支給事業実施要綱――

（子ども子育て支援課）

(2)ひとり親家庭等支援臨時給付金事業

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、児童育成手当を受給する世帯の生活を支援するために、対象児童一人あたり 30,000 円のひとり親家庭等支援臨時給付金を支給。

年度	対象世帯数（世帯）	対象児童数（人）	支給金額（円）
2	751	968	29,040,000

――令和２年度武蔵野市ひとり親家庭等支援臨時給付金支給事業実施要綱――

（子ども子育て支援課）

(3)ひとり親等世帯臨時特別給付金事業

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、児童扶養手当受給者等のひとり親世帯に対し、子育ての負担感の増加や収入の減少に対する支援として、ひとり親等世帯臨時特別給付金を支給。基本給付は１世帯 50,000 円、２子以降は１人につき 30,000 円加算。追加給付は１世帯 50,000 円。さらに、基本給付と同じ対象世帯に対し同額の給付金を再支給。

年度	対象世帯数（世帯）	支給金額（円）
2	1,503	86,010,000

――令和２年度武蔵野市ひとり親等世帯臨時特別給付金支給事業実施要綱――

（子ども子育て支援課）

(4)新型コロナウイルス感染症緊急対策に係るひとり親家庭支援事業

新型コロナウイルス感染拡大により経済的な影響を受けやすいひとり親家庭等の生活の安定を図るため、東京都が児童扶養手当受給者等を対象に食料品等のカタログギフト配布事業を実施。対象者抽出及び発送を受託。

年度	対象者数（人）
2	560

（子ども子育て支援課）

(5)令和３年度低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金事業

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、児童扶養手当受給者（ひとり親世帯分）及び児童手当受給者（ひとり親以外の子育て世帯分）、またはそれ以外の 18 歳までの児童（障害児の場合は 20 歳未満）を養育する世帯へ臨時特別の給付金を支給。所得要件あり。対象児童一人あたり 50,000 円。

年度	支給区分	対象世帯数（世帯）	対象児童数(人)	支給金額（円）
3	ひとり親世帯分	489	658	32,900,000
	ひとり親以外の子育て世帯分	723	1,153	57,650,000

――令和３年度武蔵野市低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親等世帯分）実施要綱――

――令和３年度武蔵野市低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親等世帯以外の子育て世帯分）支給事業実施要綱――

（子ども子育て支援課）

(6)令和３年度子ども子育て支援特別給付金支給事業

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、国の特別定額給付金事業及び都の出産応援事業のいずれにも対象とならなかった児童を養育する世帯に対し、市独自の臨時特別給付金を支給。対象児童一人あたり 100,000 円。

年度	対象者数（人）	支給金額（円）
3	769	76,900,000

――令和３年度武蔵野市子ども子育て支援特別給付金支給事業実施要項――

（子ども子育て支援課）

(7)令和３年度子育て世帯等臨時特別支援事業　コロナ継続

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、18 歳までの児童を養育する児童手当（本則給付）相当の所得の子育て世帯へ臨時特別の給付金として、対象児童一人あたり 100,000 円を一括支給（「一括給付金」）。また、離婚等で新たに養育者となり、基準日以降に支給対象となった者に対し「支援給付金」として同額を支給。所得要件あり。

年度	支給区分	対象世帯数（世帯）	対象児童数（人）	支給金額（円）
3	一括給付金	8,207	12,532	1,253,200,000
	支援給付金	41	62	6,200,000
4	一括給付金	52	53	5,300,000
	支援給付金	20	31	3,100,000

――令和３年度武蔵野市子育て世帯等臨時特別支援事業（子育て世帯への臨時特別給付金）支給事務実施要綱――

（子ども子育て支援課）

(8)令和４年度低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金事業　コロナ新規

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、児童扶養手当受給者（ひとり親世帯分）及び児童手当受給者（ひとり親以外の子育て世帯分）、またはそれ以外の 18 歳までの児童（障害児の場合は 20 歳未満）を養育する世帯へ臨時特別の給付金を支給。所得要件あり。対象児童一人あたり 50,000 円。所得要件あり。

年度	支給区分	対象世帯数（世帯）	対象児童数（人）	支給金額（円）
4	ひとり親世帯分	475	654	32,700,000
	ひとり親以外の子育て世帯分	682	1,086	54,300,000

――令和４年度武蔵野市低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯分）支給事業実施要綱――

――令和４年度武蔵野市低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯分）支給事業実施要綱――

（子ども子育て支援課）

(9)新型コロナウイルス感染症対策臨時休業時利用補助金　コロナ継続

新型コロナウイルス感染症対策に伴う小学校の臨時休業等によりファミリー・サポート・センター事業を利用する場合に、利用料相当額の助成を行う。（上限あり）

年度	2	3	4
延利用時間数（時間）	884	242	0

――武蔵野市ファミリー・サポート・センター事業実施要綱――

（子ども子育て支援課）

新型コロナウイルス感染症に対する武蔵野市の対応

(10)新型コロナウイルス感染症拡大により影響のあった事業（子ども子育て支援課）コロナ変更

事業名	対応の内容
０１２３吉祥寺・０１２３はらっぱ	・利用者を武蔵野市民に限定（令和２年度より継続）。
境こども園いこっと	・ひろば事業の一部を変更（令和２年度より継続）。
とことこおやこひろば	・ひろば事業の一部を変更（令和２年度より継続）。
コミセン親子ひろば	・西久保コミセンは、新型コロナウイルス感染症対策のため、一部中止（令和２年度より継続）。 ・吉祥寺北コミセンと西部コミセンで、オンラインひろばを実施（令和２年度より継続）。
ふたご・みつごのつどい	・オンライン開催により実施（令和２年度より継続）。
子育てフェスティバル	・原則オンライン開催により実施。
子ども・子育て講演会	・オンライン開催により実施。
ベビーカー貸出しサービス事業「ベビ吉」	・一部休止（令和２年度より継続）。

(11)新型コロナウイルス感染症拡大により影響のあった事業（子ども育成課）コロナ変更

事業名	対応の内容
認可保育施設利用者負担（保育料）賦課・徴収	・認可保育施設を欠席した利用者に対し、臨時休園、保健所、医師からの指導または市からの要請により児童が登園自粛した日数に応じて利用者負担（保育料）を日割り減額（令和２年３月～）。
新型コロナウイルス感染症による保育施設等の臨時休園等に対する支援事業補助金	・認証保育所に対し、臨時休園、保健所、医師からの指導または市からの要請により児童が登園自粛した日数に応じて、施設が保育料を減額した場合の補助を実施（令和２年３月～）。

(12)新型コロナウイルス感染症拡大により影響のあった事業（教育支援課）コロナ変更

事業名	対応の内容
就学援助費	・認定要件を臨時的に拡大した。

５．高齢者支援

(1)事業者支援

①介護職・看護職Ｒｅスタート支援金支給事業　コロナ継続

介護施設等の人材確保が一層懸念されることから、市内の介護施設等に就職し、継続して６か月以上の勤務が見込まれる常勤職員に対し、支援金を支給。令和４年度から、より多くの方に市内事業所で働いていただけるよう、対象となる事業所や資格を拡充し、また非常勤職員（有資格者）も対象に加えて事業を継続している。

年度	2	3	4
有資格者（15 万円）	43（うち介護 40、障害３）	33（うち介護 31、障害２）	24（うち介護 17、障害７）
有資格者（非常勤）（５万円）			2（うち介護１、障害１）
無資格者（５万円）	13（うち介護 11、障害２）	12（介護のみ）	14（うち介護５、障害９）
計	56 件、7,100,000 円	45 件　5,550,000 円	40 件　4,400,000 円

――武蔵野市介護職・看護職Ｒｅスタート支援金支給事業実施要綱――

②高齢者施設及び障害者施設におけるＰＣＲ検査等費用助成　コロナ継続

新型コロナウイルスの感染拡大と重症化するリスクの高い者の集団で形成される施設が、職員や利用者を対象として実施するＰＣＲ検査等の費用を助成。

年度	2	3	4
事業所数（件）	13	45	15
検査数（回）	437（うちＰＣＲ検査 330、抗原検査 107）	1,114（うちＰＣＲ検査 467、抗原検査 647）	1,086（うちＰＣＲ検査 78、抗原検査 1,008）
支給金額（円）	4,840,000	7,029,000	1,860,000

――武蔵野市高齢者施設及び障害者施設におけるＰＣＲ検査等費用助成事業実施要綱――

③武蔵野市福祉サービス提供事業所等物価高騰対策支援金支給事業　コロナ新規

コロナ禍・ウクライナ情勢に伴う原油価格・物価高騰の影響による電気・ガス料金を含む物価の高騰を受けながらも、介護サービスの安定的な供給を継続している事業所や施設に対し、物価高騰による介護サービスの提供に対する影響の軽減を図るとともに、利用者負担の増加を防ぐことを目的として、支援金を交付する。

区分＼年度	4	
	事業所数（件）	支給額（円）
入所系	15	50,536,800
通所系	42	18,114,000
訪問系	97	7,540,800

――武蔵野市福祉サービス提供事業所等物価高騰対策支援金支給事業実施要綱――

④防護服着脱実習　コロナ継続

保険者が行う居宅介護支援事業者や訪問介護事業者を対象とした感染症対策研修（防護服着脱実習）を１回実施し、基幹型地域包括支援センター及び在宅介護・地域包括支援センターの保健師を講師として派遣した。

(2) 新型コロナウイルス感染症の影響による介護保険料の減免　コロナ継続

新型コロナウイルス感染症により、①主たる生計維持者が死亡または重篤な傷病を負った第１号被保険者、②主たる生計維持者の事業収入等が著しく減少した第１号被保険者について、申請に基づき介護保険料を減免する。

実績

年度	2	3	4
減免決定件数（件）	56	22	8
減免決定額（円）	3,971,400	1,494,800	435,100

（高齢者支援課）

(3) 新型コロナウイルス感染症拡大により影響のあった事業（高齢者支援課）コロナ変更

事業名	対応の内容
高齢者等緊急訪問介護（レスキューヘルパー）事業	・介護者が新型コロナウイルスに感染したことにより介護者不在となる場合、また高齢者本人が感染し自宅待機となった場合にもヘルパーを派遣できるように事業を拡充し、令和２年５月 21 日より感染症対応レスキューヘルパー事業を実施。 ・「感染症対応レスキューヘルパー感染対策マニュアル」を作成し、委託事業者に対して基幹型地域包括支援センター保健師による研修を実施。 ・委託事業者に防護服等を提供。
デイサービスセンター	・令和４年度は、一部施設で介護教室及び施設ボランティア懇談会は未実施。
会食型食事サービス事業	・感染症対策を講じたうえで、４施設中２施設でのみ実施。
認知症高齢者支援事業	・認知症相談事業：面談と電話相談を併用して実施。 ・認知症サポーター養成講座：オンラインによる講座も併用しつつ適宜開催。 ・認知症を知る月間：講演会は Zoom（ウェビナー）を利用し、オンライン及び市内３ヶ所の会場にてオンライン講座を視聴できるハイブリット型講演会として開催した（令和３年度）。
家族介護教室	・「家族介護支援事業感染症対策ガイドライン」を作成し、委託事業者に配付（令和２年度）。
家族介護支援プログラム	・家族介護者の集いは会場とオンラインの併用により実施。
施設介護サポーター事業	・１施設のみで実施。

テンミリオンハウス事業	・事前予約制、身体的距離の確保に伴う定員の制限、開設時間の短縮、消毒・マスク着用の徹底などの感染防止対策を感染状況にあわせて実施したうえで事業を継続。 ・令和３年度に引き続き、感染症対策に必要な費用に対して１施設 10 万円を上限に補助金を交付。 ・令和３年度に引き続き、フレイル予防推進プログラムの実施を推進するため、20 回を上限に実施 1 回あたり５万円を加算する項目を運営費補助に追加した。
いきいきサロン事業	・「武蔵野市いきいきサロン感染症対策ガイド」に基づき、身体的距離の確保、活動時間の短縮、消毒・マスク着用の徹底などの感染防止対策を感染状況にあわせて実施したうえで事業を継続。 ・令和３年度に引き続き、感染症対策に必要な費用に対して１サロン 10 万円を上限に補助金を交付。 ・令和３年度に引き続き、時限的に市立施設（コミュニティセンター、市民会館、武蔵野プレイス）で事業を実施する場合も補助の対象とした。
レモンキャブ事業	・予約期間を１カ月に短縮し、感染防止対策を徹底しながら、利用者を通院・ワクチン接種等でレモンキャブ以外の交通手段の代替が困難な方に限定した特例運行をしていたが、令和４年６月６日から利用者の制限を解除、令和５年２月のレモンキャブだよりによる周知に合わせ、予約期間を翌月末までとした。 ・令和２年度から引き続き、運行協力員を対象とする感染症に備えた保険に加入した。
エンディング（終活）支援事業	受講希望団体等とは事前に感染防止対策を確認。
敬老記念事業	・令和２年度から引き続き、武蔵野市赤十字奉仕団による友愛訪問を中止し、対象者に敬老祝品を配送した。 ・感染防止対策を講じたうえで、３年ぶりに敬老福祉の集いを開催し、市長による百歳訪問を行った。
シルバースポーツ大会	・会場の人数制限により、老人クラブ会員と不老体操事業参加者の申込制とし、午前午後の２部制で令和４年 10 月 15 日に実施。
健康体操と浴場開放	・感染防止対策を十分に講じたうえで、会場を事前登録制にし、時間も 30 分に短縮して実施。
高齢者食事学事業	・従来の対面式の料理講習会からチラシの配布・動画配信等に事業内容を変更して実施。
地域健康クラブ	・感染症対策を講じたうえで実施。
ケアリンピック武蔵野	・感染対策を講じ、令和４年 11 月 19 日（土）にオンラインを併用して開催。来場者は事前予約制とした。

市内介護事業所へマスク等の提供	・市の備蓄品や東京都から支給された感染防止用品を市内介護事業所へ配布。
フレイル予防啓発のホームページへの掲載	・在宅でできるフレイル予防の動画を令和２年度に作成し、令和４年度も引き続き市ホームページへ掲載。

(4) 新型コロナウイルス感染症拡大により影響のあった事業（住宅対策課）コロナ継続

事業名	対応の内容
福祉型住宅	・入居募集の申込方法について、募集期間中に直接市役所に来庁し申し込む方法から、事前の電話による来庁予約をしたうえで、人数を調整して個別面談を行う方法に変更。面談時には手指消毒及び検温を行い、申込者と職員の間にアクリル板を設置、１組終了ごとに机椅子の消毒を実施。 ・入居者同士の交流を図るため月１回実施している茶話会やコーラス等の催しを休止。

６．障害者（児）福祉

(1) 手話通訳者慰労金支給事業

緊急事態宣言期間中に派遣を行い、市民生活を支えた手話通訳者に市独自の慰労金を支給。

【令和２年度実績】

対象者（人）	11
金額（円）	110,000

※令和２年度のみ実施。

(2) 手話通訳者へフェイスシールド及び透明マスク配布

登録手話通訳者の新型コロナウイルス感染防止と安全確保を図るためフェイスシールド及び透明マスクを配布。

【令和２年度実績】

フェイスシールド	配布数（個）	40
	金額（円）	13,200
透明マスク	配布数（個）	10
	金額（円）	2,750

※令和２年度のみ実施。

(3)移動支援事業（臨時的な取扱い）

緊急事態宣言が発出され外出自粛が要請された期間における、事業所への支援（令和２年３月実績分～８月実績分）。

内容	対象	事業所数	金額（円）
キャンセル分の補填	外出の自粛や利用者、家族に発熱している方がいるなどを理由として発生したキャンセル分	26	9,192,800
事務手数料の割増	感染予防対策にかかる費用負担分を「感染予防加算」として事務手数料に上乗せ(1,000 円→2,000 円/1 回)	42	5,166,000
事業所での独自の工夫取り組みに対する給付	支援の対応等を共有し、支援の質をより高めること。（感染症対策、虐待防止、熱中症対策などこの時期にすぐに必要なテーマであることが条件)	12	924,000

※令和２年度のみ実施。

(4)日中一時支援事業（臨時的な取扱い）

緊急事態宣言の発出を受け在宅で長時間過ごすと見込まれるサービス利用者へ対し、心身の状況や生活における影響等を早期に把握し、安否確認や見守り、相談支援等、必要な支援をする事業者への支援（令和２年４月～５月実績分）。

内容	対象	利用者（人）	金額（円）
代替サービス利用（居宅への訪問又は電話やITを活用した支援）に係る利用者負担の減免	利用者負担のある方	12	38,000

※令和２年度のみ実施。

(5)ＰＣＲ検査等費用助成事業　コロナ継続

新型コロナウイルス感染防止対策として重症化するリスクの高い施設の利用者及び職員に対するＰＣＲ検査等の費用を助成。

年度	2	3	4
事業所数	10	18	1
検査数（回）	168（全件 PCR 検査）	378（全件 PCR 検査）	26（全件 PCR 検査）
金額（円）	2,364,000	3,973,000	371,000

――武蔵野市高齢者施設及び障害者施設におけるＰＣＲ検査等費用助成事業実施要綱――

新型コロナウイルス感染症に対する武蔵野市の対応

(6)武蔵野市福祉サービス提供事業所等物価高騰対策支援金支給事業　コロナ新規

コロナ禍・ウクライナ情勢に伴う原油価格・物価高騰の影響による電気・ガス料金を含む物価の高騰を受けながらも、障害福祉サービスの安定的な供給を継続している事業所や施設に対し、物価高騰による障害福祉サービスの提供に対する影響の軽減を図るとともに、利用者負担の増加を防ぐことを目的として、支援金を交付。

区分＼年度	4	
	事業所数（件）	支給額（円）
入所系	10	11,532,000
通所系	35	17,244,000
訪問系	13	967,200

――武蔵野市福祉サービス提供事業所等物価高騰対策支援金支給事業実施要綱――

(7)障害福祉サービス事業者へのマスクの配布

厚生労働省及び東京都が新型コロナウイルス感染防止対策として自治体に配布するマスクを活用し、サービス事業者へ配布。

【令和２年度実績】

配布種別	配布か所	配布数（枚）
マスク	76	66,350

※令和２年度のみ実施。　（障害者福祉課）

(8)新型コロナウイルス感染症拡大により影響のあった事業（障害者福祉課）コロナ変更

事業名	対応の内容
障害者差別解消の取り組み	・障害者差別解消支援地域協議会を下記のとおり開催。 ・令和４年９月 17 日は書面にて開催。 ・令和５年１月 30 日は社会状況を考慮しながら対面にて開催。
地域活動支援センター事業	・地域生活支援センターびーと ・飲食を伴うもの、大きな声を出すものは中止。他の事業は感染防止対策を充分に講じたうえで実施。 ・公開セミナー（市民向け事業）をオンラインで開催。 ・ライフサポートＭＥＷ ・未実施のプログラムあり。他のプログラムは感染防止対策を充分に講じたうえで実施。 ・コット ・未実施のプログラムあり。他のプログラムは感染防止対策を充分に講じたうえで実施。
武蔵野市民こころの健康支援事業	・テーマ講座は２回とも会場開催とオンライン（動画配信）にて開催。
精神保健福祉講演会	・会場開催とオンライン（動画配信）にて開催。

心のバリアフリー啓発事業	・感染防止対策を充分に講じたうえ、オンライン開催やＤＶＤ視聴等も併用して実施。
障害者(児)ショートステイ事業	・在宅障害者(児)の緊急一時入所、体験入所等及びレスパイト(介護者等の休養)、短期入所(ショートステイ)の受入数を縮小。
むさしのあったかまつり	・令和４年度は感染防止のため規模を縮小し、例年行っていた飲食関係の出店を取りやめ、感染対策を充分に講じたうえで開催。
失語症者デイサービス事業	・定員を10名から５名に縮小して感染防止対策を充分に講じたうえで実施。
武蔵野市地域自立支援協議会	・全体会、報告会等をオンラインにて開催。
武蔵野市障害者福祉センター施設・機器等の貸出	・調理室の貸出を中止。
武蔵野市障害者福祉センター障害者講習会	・感染リスクの高い講座（うたの教室、パーカッション）の中止。 ・他の講座は定員を半数に縮小して、感染防止対策を充分に講じたうえで実施。
武蔵野市障害者福祉センター地域活動	・千川福祉祭り、千川地区社協、サロン千川に例年参加しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となった。 ・その他実施された各事業には社会状況を考慮しながら参加。
武蔵野市障害者福祉センター関係機関連絡会	・感染防止対策を充分に講じたうえ、オンラインでの開催。
みどりのこども館　おもちゃのぐるりん(地域開放型事業)	・４月から９月までを予約ありの 10 名定員制とし、10 月から３月までは社会状況を考慮しながら予約不要の定員制とした。

(9)新型コロナウイルス感染症拡大により影響のあった事業（住宅対策課）コロナ継続

事業名	対応の内容
福祉型住宅	・入居者同士の交流を図るため月１回実施している茶話会やコーラス等の催しを休止。

７．保健衛生

(1)食育事業

①第１回食育フェスタ（オンライン）の実施

市の食育に関する取り組みを広く発信して市民の食への関心を高め、今後の食育活動の広がりを図ることを目的に第１回むさしの食育フェスタを実施。新型コロナウイルスの影響で、オンラインで実施した。

特設ホームページ名「むさしの食育フェスタ」

主な掲載内容

動画（アウトドアクッキング、スポーツ栄養、食と農、美肌と食、減塩、食品ロス削減、学校給食レシピ、保育園の収穫野菜、工作（弁当）と弁当をテーマにした手遊び、おせち料理）

野菜クイズ

農産物直売所の周知

公開日　令和３年 12 月 15 日～令和４年１月 31 日　終了後もアーカイブとして閲覧可能

実施期間中のアクセス数　1,311 件

②食育ホームページにおける情報発信　コロナ継続

「第１回むさしの食育フェスタ」（令和２年 11 月を予定）を始めとした各種イベントが新型コロナウイルスの影響で中止になり、「武蔵野の「食」と市民をつなぐ」機会が消失してしまったため、食育の周知を充実させることを目的に、食育のホームページを一新し特設ホームページを開設した。

特設ホームページ名　「食を育む。むさしの」

主な掲載内容

学校給食　　給食調理場における調理風景の動画

市内農業　　市内生産者や畑の写真

友好都市の食　各友好都市の特産食品の写真

その他の食育　各課の食育の取り組みの写真

公開日　令和２年 12 月 15 日

(2)健康増進事業

①わくわくキッズオンライン食育講座　コロナ継続

子育て世代への保護者や家族の食生活改善につながる、アイスクリーム作り等の体験つき食育講座を実施。令和３年度より、対面型の「食べ力のびのび教室」から名称を変更し、オンライン出前講座として提供していくことを目的に、試行事業として実施。

年度	3	4
実施回数(回)	1	0
参加者数(人)	18	0

②オンライン講座「ママのための栄養のお話&親子de体操」　コロナ継続

コミュニティ協議会との共催事業として推進してきた「ママのための健康講座と親子de体操」を双方向のオンライン出前講座として実施。

年度	2	3	4
実施回数(回)	1	2	0
参加者数(人)	28	21	0

③健康づくり出前講座オンライン併用型「知って得する！カラダのセミナー」　コロナ継続

オンライン併用型（測定：健康づくり応援パートナー店舗などで対面実施。結果の見方説明、運動・栄養講座：ＺＯＯＭを使用したオンライン実施）健康づくり出前講座として、主に健康づくり応援パートナー店を対象として令和３年度から開始。若い世代の方々がより参加しやすくするため、測定は子ども同伴を可とした。令和４年度より「インボディ測定会」から名称を変更。

年度	3	4
実施回数(回)	3	0
参加者数(人)	29	0

④自宅で健康づくり支援事業（※令和２年度までは自宅で体操支援事業）　コロナ継続

１日の活動量が減少している市民への健康づくり支援として、ホームページ内（市リンク）に「おうち時間de健康づくり」コーナーを開設するほか、メールマガジン「むさしの健康づくり応援ニュース」での配信、窓口での配布等を実施。令和３年度は、「学んで実践！ウォーキング教室」のポイントを抜粋し、「ウォーキング教室動画」としてホームページに掲載。令和４年度は「腰痛予防教室」のポイントを抜粋し、「腰痛予防教室紹介動画」としてホームページに掲載。また、「食育事業紹介動画」を作成し、ホームページに掲載。

年度	元(31)	2	3	4
毎日★自宅ジム（件）	9	15	0	0
動画提供（件）	-	-	9	5

(3)新型コロナウイルス感染症発生に伴う感染症対策

①武蔵野市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議

武蔵野市における新型コロナウイルス感染症対策について、意見を聴取するとともに、助言を求めるため、武蔵野市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議を開催した。

開催	日程	主な議題
第１回 全体会	令和２年３月９日	(1)新型コロナウイルス感染症これまでの経緯、(2)武蔵野市の新型コロナウイルス感染症対策と今後の対応について、(3)今後の検査・医療体制等について
第２回 全体会	令和３年８月23日	(1)教育活動の留意事項、(2)宿泊行事の実施、(3)部活動の実施、(4)学校施設開放、(5)2学期の開始時期

②ＰＣＲ検査体制の整備

ア　武蔵野市ＰＣＲ検査センター

新型コロナウイルス感染症拡大リスクに備え、令和２年度に唾液による検体採取やドライブスルー方式などによるＰＣＲ検査を実施する体制を整備した。

開設期間	令和２年５月21日 ～令和３年２月28日
検査数（人）	370
陽性者数（人）	26
陽性率（%）	7.0

イ　市内の各医療機関におけるＰＣＲ検査等　コロナ継続

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、市内のＰＣＲ検査を行う医療機関に対して、令和２年度に検査体制の整備を進めるための補助を行い、市民が身近な医療機関でＰＣＲ検査を受けられる体制の充実を図った。

・武蔵野市医師会の医療機関によるＰＣＲ検査等

年度	2	3	4
検査数（人）	4,025	24,661	44,983
陽性者数（人）	494	6,908	18,150
陽性率（%）	12.3	28.0	40.3

※２、３次救急医療機関を除く。

③感染症指定病院及び救急医療機関の医療提供体制の充実

感染症患者の受け入れを行う感染症指定病院や市民のＰＣＲ検査等を行う救急病院に対して、令和２年度に補助金を支出した。

病院	補助金額（円）
武蔵野赤十字病院	90,000,000
武蔵野陽和会病院	30,000,000
吉祥寺南病院	30,000,000
森本病院	20,000,000

④医療機関へのマスクや防護服等の配布、貸与　コロナ継続

全国的なマスク不足が深刻な状況となり、医療機関においても、マスクや防護服等の感染防止資材が不足する状況となったため、令和２年２月下旬頃から、市内の医療機関に対して、市で備蓄していたマスクや防護服等の配布・貸与を行った。なお、各診療所等には、武蔵野市医師会等を通じて、配布・貸与を行った。

令和３年度からは、自宅療養者への診療などにも各種衛生用品の活用が図られた。

医療機関へ配布・貸与した主な実績

年度	実施日	対象機関	内容
元 (31)	令和２年２月 28 日等	武蔵野市医師会	マスク約 20,000 枚
	令和２年３月６日	吉祥寺南病院	マスク 2,000 枚
	令和２年３月９日	森本病院	マスク 2,000 枚
	令和２年３月 18 日	武蔵野陽和会病院	マスク 5,000 枚
	令和２年３月 30 日	武蔵野市歯科医師会	マスク 6,000 枚
2	令和２年４月２日	武蔵野市薬剤師会	マスク 3,000 枚
	令和２年４月９日	武蔵野赤十字病院	医療用手袋 1,000 双 防護服 800 着
3	令和３年８月 18 日等	武蔵野市医師会	マスク 104,000 枚 医療用手袋 40,000 双 防護服 200 着　など
	令和３年８月 23 日等	武蔵野市薬剤師会	マスク　約 17,000 枚 医療用手袋 63,000 双 防護服 50 着　など
4	令和４年６月６日等	武蔵野市薬剤師会	マスク 10,050 枚 消毒用エタノール 335 本

⑤妊婦へのマスク配布

ア　出産予定の妊婦の感染不安を軽減するため、市独自でマスクを配布した。

イ　厚生労働省による妊婦用マスクを窓口配布及び郵送配布した。

	配布日	内容
ア	令和２年４月 30 日（４月出産予定の妊婦）	紙マスク３枚、ポリウレタンマスク１枚
	令和２年５月 20 日（５月以降出産予定の妊婦）	ポリウレタンマスク２枚
イ	令和２年６月～10 月	布マスク２枚（毎月）

⑥自宅療養者への医療支援体制の整備　コロナ継続

令和３年度に武蔵野市医師会の各医療機関へパルスオキシメーター200 台の貸与配備や、酸素濃縮器の整備（リース方式）等に係る経費補助等を行い、ＰＣＲ検査等を実施した市内医療機関が自宅療養者の病状等に応じてパルスオキシメーターを貸与、健康観察、電話・オンライン・訪問等による診療、酸素濃縮器の貸与等を行う医療支援体制を整備した。令和４年度も引き続きパルスオキシメーターの貸与を継続した。

令和３年８月～	パルスオキシメーター200台を武蔵野市医師会の各医療機関に貸与配備
令和３年９月 ～令和４年３月	酸素濃縮器の貸与実績　４件

⑦東京都モニタリング検査（ＰＣＲ検査）への協力

東京都が実施するモニタリング検査（ＰＣＲ検査）事業に市として協力を行い、武蔵野市商店会連合会会員及びその従業員のうち希望する方を対象として、各商店会長を通じて検査への協力を依頼した。

・検査期間　令和３年６月 14 日～18 日、令和３年８月 30 日～９月 12 日

⑧抗原定性検査キットの配布　コロナ新規

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外来医療のひっ迫に備えるとともに、有症状の市民が少しでも早く抗原定性検査を行うことができるよう、都道府県が行う抗原定性検査キットの配布事業に加え、市における抗原定性検査キットの当日配布事業を試行で実施した。「のどの痛み・発熱等の症状がある、重症化リスクの低い方」あるいは「無症状である濃厚接触者の方」に該当する市民を対象として郵送配布した。

抗原定性検査キットの配布実績

年度	配布期間	配布数（キット）
4	令和５年１月10日から３月31日 ※土曜日曜祝日を除く	555

⑨武蔵野市新型コロナウイルスワクチン接種推進本部の設置　コロナ継続

新型コロナウイルスワクチン接種を安全かつ確実に推進するため、市長を本部長とする「武蔵野市新型コロナウイルスワクチン接種推進本部」を設置し、接種実施に係る協議を行った。（接種事業についての詳細は「Ⅸ保健衛生　１予防接種事業」を参照）

年度	回数	開催回
2	11回	第１回～11回
3	33回	第12回～44回
4	18回	第45回～62回

（健康課）

(4) 新型コロナウイルス感染症拡大により影響のあった事業（健康課）コロナ変更

事業名	対応の内容
介護予防事業	・歯つらつ健康教室、おいしく元気アップ！教室、健康やわら体操の講座内容と定員は、令和２・３年度と同様に実施。
口腔健康診査	・桜まつり（４月）のオンライン開催、よい歯のための集い（６月）の中止に伴い中止。
よい歯のための集い	・事業を中止。
保育所歯科健康教育	・染め出しは行わずに実施。
ベビーサロン	・自由来所制を予約制へ変更し、会場ごとに対象地区を定めて実施。
高齢者インフルエンザ予防接種	・新型コロナウイルス感染症との同時流行を防ぐため、東京都の補助金により、例年 2,500 円の自己負担を全額公費負担とした。
高齢者肺炎球菌予防接種	・令和元、２及び３年度の対象者の接種期間を延長して令和４年９月 30 日までとした。
子どもの予防接種	・令和２年３月 19 日以降、やむを得ず対象期間内に接種できなかった方の接種期間を延長して令和５年９月 30 日までとした（ただし BCG は４歳、肺炎球菌は６歳まで、子宮頸がん予防については令和４年３月 31 日まで）。

人間ドック	・定員を変更して実施。
チャレンジキッズ教室	・新型コロナウイルス感染予防対策を講じ、密を避ける形で実施。
親子食育ウォーキング教室	・新型コロナウイルス感染予防対策を講じ、密を避ける形で実施。
「リズムでＤＡＮＤＡＮ！for キッズ」等の普及活動	・事業を中止（令和２年３月～）。
健康体操教室　ウェルネス・エクササイズ	・新型コロナウイルス感染予防対策を講じ、密を避ける形で実施。
学んで実践！ウォーキング教室	・新型コロナウイルス感染予防対策を講じ、密を避ける形で実施。
健康体操教室　シニアフィット	・新型コロナウイルス感染予防対策を講じ、密を避ける形で実施。
健康づくり応援教室　まるごと元気力向上教室	・新型コロナウイルス感染予防対策を講じ、密を避ける形で実施。
知って得する！カラダのセミナー	・新型コロナウイルス感染予防対策を講じ、密を避ける形で実施。
高齢者筋力向上プログラム ・つくろう！健脚教室 ・いきいき体づくり教室	・新型コロナウイルス感染予防対策を講じ、密を避ける形で実施。
地域各種団体との共催事業	・新型コロナウイルス感染予防対策を講じ、密を避ける形で実施。
健康づくり応援パートナー連携事業	・新型コロナウイルス感染予防対策を講じ、密を避ける形で実施。
健康づくり協力事業	・新型コロナウイルス感染予防対策を講じ、密を避ける形で実施。
健康づくり出前講座	・新型コロナウイルス感染予防対策を講じ、密を避ける形で実施。 ・オンライン出前講座（親子参加、知って得する！カラダのセミナー）を開始。
インボディミニ測定	・新型コロナウイルス感染予防対策を講じ、密を避ける形で実施。
ノルディックウォーキング教室	・新型コロナウイルス感染予防対策を講じ、密を避ける形で実施。
食事♡診断	・従来の窓口や郵送での実施方法のほか、Ｗｅｂフォームでの食事記録表の提出を開始。
腰痛予防教室	・新型コロナウイルス感染予防対策を講じ、密を避ける形で実施。
市内イベント等での健康づくり情報発信活動	・新型コロナウイルス感染予防対策を講じ、密を避ける形で実施。

８．国民健康保険

(1)新型コロナウイルス感染症の影響による国民健康保険税の減免　コロナ継続

新型コロナウイルス感染症により、①主たる生計維持者が死亡または重篤な傷病を負った世帯、②主たる生計維持者の事業収入等が著しく減少した世帯について、申請に基づき国民健康保険税を減免する。

実績

年度	2	3	4
決定件数（件）	397	200	58
決定額（円）	61,603,800	21,562,900	9,850,200

(2)新型コロナウイルス感染症の影響による国民健康保険税の徴収猶予の特例制度

新型コロナウイルス感染症の影響により事業等に係る収入に相当の減少があり、一時に納税することが困難な世帯について、申請に基づき徴収を猶予する。令和３年２月１日申請分までが対象（地方税法附則第59条）。

実績

年度	2
決定件数（件）	92
決定額（円）	14,762,900

(3)新型コロナウイルス感染症に感染した被用者に対する傷病手当金　コロナ継続

新型コロナウイルス感染症に感染、又は発熱等の症状があり感染が疑われる場合に、感染拡大を防止するため会社等を休みやすい環境を整備することを目的に傷病手当金を支給する。

実績

年度	2	3	4
決定件数（件）	1	16	33
決定額（円）	519,987	1,028,178	1,594,066

（保険年金課）